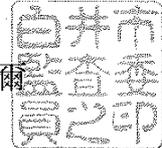


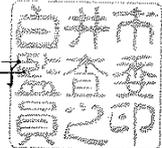
白 監 第 3 6 号  
令和 2 年 8 月 1 8 日

白井市長 笠 井 喜久雄 様

白井市監査委員 河 合 謹 爾



白井市監査委員 古 澤 由紀子



平成 3 1 年度白井市水道事業会計決算審査意見書の提出  
について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、審査に付された平成  
3 1 年度白井市水道事業会計決算について、審査を行った結果、次のと  
おり意見書を提出します。



平成31年度  
白井市水道事業会計  
決算審査意見書

白井市監査委員



## 目 次

第一 審査の対象	1
第二 審査の期間	1
第三 審査の場所	1
第四 審査の方法	1
第五 審査の結果	1
第六 審査意見	1
第七 決算の概要	2
1 予算の執行状況	2
(1)収益的収入及び支出	2
(2)資本的収入及び支出	2
2 経営成績	3
(1)損益計算書	3
(2)業務実績	4
3 財政状況	5
(1)貸借対照表	5
参考	6
(1)経営分析比率	6

### 凡 例

比率(%)は、原則として小数点第2位以下を切り捨てして表示しました。

# 平成31年度白井市水道事業会計決算審査意見書

## 第一 審査の対象

平成31年度 白井市水道事業会計決算

## 第二 審査の期間

令和2年8月3日、4日、5日の3日間

## 第三 審査の場所

白井市役所 東庁舎3階 監査委員室

## 第四 審査の方法

決算の審査にあたっては、「白井市監査基準及び令和2年度白井市監査計画」に準拠して、平成31年度白井市水道事業会計決算書及び事業報告書に基づき、計数の正否、予算執行の適否等について、的確に実施されているか否かについて、関係諸帳簿及び証書類を照合するとともに必要に応じて職員から説明を聴取し、例月出納検査及び定期監査の結果を参考として、審査を行いました。

## 第五 審査の結果

審査に付された水道事業会計決算書及び事業報告書については、決算審査資料、関係諸帳簿等と照合して審査を行った結果、計数は正確であり、予算の執行についても目的に沿って適正に執行されており、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められました。

## 第六 審査意見

財政状況については、収益的収支の状況は、水道事業収益 478,058,392円に対し、水道事業費用 554,244,905円で、収益的収支差引 76,186,513円の純損失が生じ、この結果、当年度未処分利益剰余金が 99,165,041円となっている。

資本的収支は、資本的収入額 411,805,740円に対し、資本的支出額 439,248,916円で、資本的収入額が資本的支出額に不足する 27,443,176円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 27,443,176円で補てんされている。

水道事業の経営基盤を示す経営分析比率を見ると、いずれも良好な状態とは言えず、必要な収入を確保するためには、他会計からの補助金に頼らざるを得ない状況ではあるが、水道料金の改定に取り組み、経営基盤の改善に努められている点は評価できる。

今後も、安全・安心な水を安定して供給するため、持続可能な事業運営を図ることを望むものである。

## 第七 決算の概要

### 1 予算の執行状況

#### (1) 収益的収入及び支出

##### 収入

(単位:円・%)

区分	予算額	決算額	増減額	執行率
1 水道事業収益	627,793,000	539,897,831	△ 87,895,169	85.9
1 営業収益	382,594,000	379,613,853	△ 2,980,147	99.2
2 営業外利益	245,198,000	160,283,978	△ 84,914,022	65.3
3 特別利益	1,000	0	△ 1,000	0.0

##### 支出

(単位:円・%)

区分	予算額	決算額	不用額	執行率
1 水道事業費用	627,793,000	589,200,710	38,592,290	93.8
1 営業費用	614,926,963	578,959,779	35,967,184	94.1
2 営業外費用	12,165,000	9,949,331	2,215,669	81.7
3 特別損失	291,600	291,600	0	100.0
4 予備費	409,437	0	409,437	0.0

収益的収入は、予算額は627,793,000円に対し、決算額は539,897,831円で、増減額は87,895,169円の減額となっている。

収益的支出は、予算額は627,793,000円に対し、決算額は589,200,710円で、不用額は38,592,290円となっている。

#### (2) 資本的収入及び支出

##### 収入

(単位:円・%)

区分	予算額	決算額	増減額	執行率
1 資本的収入	451,882,596	411,805,740	△ 40,076,856	91.1
1 企業債	253,600,000	234,300,000	△ 19,300,000	92.3
2 出資金	120,948,596	101,681,000	△ 19,267,596	84.0
3 補助金	75,292,000	74,572,000	△ 720,000	99.0
4 負担金	2,042,000	1,252,740	△ 789,260	61.3

##### 支出

(単位:円・%)

区分	予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
1 資本的支出	687,164,220	439,248,916	235,155,725	12,759,579	63.9
1 建設改良費	647,723,220	412,567,495	235,155,725	0	63.6
2 企業債償還金	26,682,000	26,681,421	0	579	99.9
3 補助金返還金	12,759,000	0	0	12,759,000	0.0

資本的収入は、予算額は451,882,596円に対し、決算額は411,805,740円で、増減額は40,076,856円の減額となっている。

資本的支出は、予算額は687,164,220円に対し、決算額は439,248,916円で、不用額は12,759,579円となっている。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額27,443,176円については、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額27,443,176円で補てんされている。

## 2 経営成績

### (1) 損益計算書

(単位:円・%)

区 分	金 額		比 較	
	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
営業収益	349,620,090	335,324,850	14,295,240	4.2
営業外収益	128,438,302	185,284,710	△ 56,846,408	△ 30.6
収益合計	478,058,392	520,609,560	△ 42,551,168	△ 8.1
営業費用	543,752,053	481,671,825	62,080,228	12.8
営業外費用	10,222,852	7,975,740	2,247,112	28.1
特別損失	270,000	0	270,000	—
費用合計	554,244,905	489,647,565	64,597,340	13.1

営業利益(△営業損失)	△ 194,131,963	△ 146,346,975
経常利益(△経常損失)	△ 75,916,513	30,961,995
当年度純利益(△純損失)	△ 76,186,513	30,961,995
当年度未処分利益剰余金	99,165,041	175,351,554

営業収益 349,620,090円の内訳は、給水収益 347,640,110円、その他の営業収益 1,979,980円で、前年度と比較して、給水収益は 14,234,000円の増加、その他の営業収益は 61,240円の増加、全体で 14,295,240円の増加を示している。

営業収益に対応する営業費用 543,752,053円の内訳は、原水及び浄水費 293,180,542円、配水及び給水費 49,646,393円、総係費 63,597,475円、減価償却費 118,457,643円、資産減耗費 18,870,000円で、前年度と比較して、原水及び浄水費 12,629,511円の減少、配水及び給水費 20,203,429円の増加、総係費 9,427,612円の増加、減価償却費 26,208,698円の増加、資産減耗費 18,870,000円の増加、全体では 62,080,228円の増加を示している。

営業外収益 128,438,302円の内訳は、給水申込納付金 22,110,000円、他会計補助金 51,753,000円、県補助金 11,617,000円、長期前受金戻入 42,782,950円、雑収益 95,069円、引当金戻入益 80,283円で、前年度と比較して、56,846,408円の減少を示している。

営業外費用 10,222,852円の内訳は、支払利息及び企業債取扱諸費 9,949,331円、雑支出 273,521円で、前年度と比較して、2,247,112円の増加を示している。

特別損失の内訳は、過年度損益修正損 270,000円で、前年度と比較して、270,000円の増加を示している。

この結果、営業収益より営業費用が上回り、営業損失が 194,131,963円となっている。この営業損失に営業外収益及び営業外費用を加減した経常損失は 75,916,513円、経常損失に特別損失を加えた当年度純損失は、前年度と比較して、107,148,508円増加し、76,186,513円となっている。

(2)業務実績

区 分	平成31年度	平成30年度	比 較	
			増 減	増減率(%)
年度末給水人口(人)	19,905	19,824	81	0.4
年度末給水戸数(戸)	7,994	7,898	96	1.2
年間給水量 (m <sup>3</sup> )	1,771,425	1,717,679	53,746	3.1
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	1,720,762	1,652,907	67,855	4.1
有 収 率 (%)	97.14	96.23	0.91	0.9
供 給 単 価 (円)	202.03	201.71	0.32	0.1
給 水 原 価 (円)	297.07	274.88	22.19	8.0

年度末給水人口は19,905人で、前年度と比較して、81人の増加となり、年度末給水戸数は7,994戸で、前年度と比較して、96戸の増加となっている。

年間給水量は1,771,425m<sup>3</sup>で、前年度と比較して、53,746m<sup>3</sup>の増加となり、年間有収水量は1,720,762m<sup>3</sup>で、前年度と比較して、67,855m<sup>3</sup>の増加となっている。

有収率は97.14%で、前年度と比較して、0.9ポイントの増加となっている。

供給単価は1m<sup>3</sup>当たり 202.03円で、前年度と比較して、0.32円の増加となっている。

給水原価は1m<sup>3</sup>当たり 297.07円で、前年度と比較して、22.19円の増加となっている。

### 3 財政状況

#### (1) 貸借対照表

(単位:円・%)

区 分	金 額		比 較	
	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
固 定 資 産	4,272,669,108	4,007,273,759	265,395,349	6.6
流 動 資 産	996,424,857	1,206,464,342	△ 210,039,485	△ 17.4
資 産 合 計	5,269,093,965	5,213,738,101	55,355,864	1.0
固 定 負 債	1,159,297,281	952,406,833	206,890,448	21.7
流 動 負 債	149,350,509	357,590,501	△ 208,239,992	△ 58.2
繰 延 収 益	1,496,668,456	1,465,457,535	31,210,921	2.1
負 債 合 計	2,805,316,246	2,775,454,869	29,861,377	1.0
資 本 金	2,364,275,309	2,262,594,309	101,681,000	4.4
剰 余 金	99,502,410	175,688,923	△ 76,186,513	△ 43.3
資 本 合 計	2,463,777,719	2,438,283,232	25,494,487	1.0
負債・資本合計	5,269,093,965	5,213,738,101	55,355,864	1.0

#### ○資 産

資産の総額は 5,269,093,965円で、前年度と比較して、55,355,864円の増加となっている。

そのうち、固定資産は 4,272,669,108円で、前年度と比較して、265,395,349円の増加となっている。

流動資産は 996,424,857円で、前年度と比較して、210,039,485円の減少となっている。

#### ○負 債

負債の総額は 2,805,316,246円で、前年度と比較して、29,861,377円の増加となっている。

そのうち、固定負債は 1,159,297,281円で、前年度と比較して、206,890,448円の増加となっている。

流動負債は 149,350,509円で、前年度と比較して、208,239,992円の減少となっている。

繰延収益は 1,496,668,456円で、前年度と比較して、31,210,921円の増加となっている。

#### ○資 本

資本の総額は 2,463,777,719円で、前年度と比較して、25,494,487円の増加となっている。

そのうち、資本金は 2,364,275,309円で、前年度と比較して、101,681,000円の増加となっている。

剰余金は 99,502,410円で、前年度と比較して、76,186,513円の減少となっている。

## 参 考

### (1) 経営分析比率

区 分	比 率		算 式 等
	平成31年度	平成30年度	
自己資本 構成比率	75.1%	74.8%	$\frac{\text{自己資本}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$
営業収支 比 率	64.2%	69.6%	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$
施設利用率	88.1%	83.1%	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$
最大稼働率	100.0%	100.0%	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$
経営資本 回 転 率	0.070回/年	0.065回/年	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本(総資産-建設仮勘定)}}$

区 分		平成31年度	平成30年度	県平均値※1	全国平均値※2
職 員 1 人 あ た り ※ 3	給水人口	3,981人	4,956人	3,182人	2,923人
	有収水量	344,152m <sup>3</sup>	413,227m <sup>3</sup>	333,055m <sup>3</sup>	335,138m <sup>3</sup>
	営業収益	69,924千円	83,831千円	76,986千円	61,078千円

※1:平成30年度市町村公営企業決算概況(千葉県 給水人口1.5万人以上3万人未満)から積算

※2:平成30年度地方公営企業年鑑(給水人口1.5万人以上3万人未満)から積算

※3:平成31年度損益勘定所属職員数

(水道事業の営業活動に従事する職員 平成30年度:4名, 平成31年度:5名)